

PDCAチェックシート

実施年度	令和5年度		
事務事業名	地域介護予防活動支援事業(地域ふれあい事業)		
担当課名	長寿保健課		
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと生活できるよう、より身近な地域拠点での介護予防の取り組みを行い、一人でも多くの方が参加することを目的とする。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ○地域ふれあい教室の参加者数：延べ6,700人 【達成値(R5実績値)】 ○地域ふれあい教室の参加者数：延べ6,002人	■具体的取組 地域ふれあい教室事業を出前講座、サロン事業、憩いの場、関係団体等に周知する。 ◆周知PR方法 ・ホームページ ・チラシ、ポスター掲示 ・家庭訪問等（利用者のニーズに応じて適宜提供） ◆リハビリ等の専門職との医療連携会を年4回開催 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ○委託料 14,450千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 【実績】 ○実施回数 503回（拠点数 35か所） 【広報・啓発活動】 ○ポスター掲示：14か所/16枚（公民館、市役所、コミュニティセンター等） ○チラシ配布：自治会等19か所 420枚 ○YouTube動画配信：3種類 ○地域資源マップに掲載：年1回更新	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 令和5年度は、拠点数の増加から、参加者数の増加に目標をシフトし、一人でも多くの方が健康的かつ生きがいに繋がるよう介護予防を進めた。 目標である参加者数（延べ6,700人）は達成できなかったが、活動場所までの移動が難しい方等の声もあることから、参加が難しい方向けに自宅でできる元笑気体操等の動画配信を使って、介護予防活動の支援に努めた。	■検証結果を受けての具体的対応 令和6年度も、参加者数を目標として一人でも多くの方の参加を促すよう地域の関係者（福祉委員、民生委員、自治会長など）及び各種団体の総会等において積極的に広報・周知を行う。 また、教室の実施内容をリハビリ職などの専門職との医療連携会において協議し、より効果的かつ参加者が興味が増し、各家庭でも実施可能等な介護予防内容となるよう充実・工夫をする。

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。